

8. 単元名「桜町小オリジナルクッキーを作ろう」(全 52 時間) 1次案 4年5組

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能 ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「クッキーの作り方をマスターしよう」(15)			
	<ul style="list-style-type: none"> 人と関わることができるテーマを考えよう! 今年度は、食べ物を作ってみよう! クッキーは、様々な種類があるから一人ひとりの希望に合ったものが作れそう。 桜町小オリジナルクッキーを開発して、販売したい! 桜新町商店街のお店とコラボしたい! アイシングクッキーでクッキーに絵を描きたい! マシュマロをレンジで温めるとクッキーにコーティングできる! 生地が粉っぽくなっちゃった。 今度は生地がしっかりと混ざった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度追究していく材についてアイデアを出し合う。 ○材を絞り、見通しをもつ。 ○自分が作りたいクッキーごとにグループを決める。 ○グループごとに材料や作り方をさらに詳しく調べ、クッキーを作る。 ○生地作りに着目して、作りたいクッキーごとにグループで再度クッキーを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの意見を聞くために、ロイロノートを活用してアイデアを出し合うようにする。 他教科との結び付きが可能かどうか、児童が考えられるよう、全教科の教科書を参考にする。 更なるレベルアップを目指すために、昨年度の活動を想起するよう促す。 作ってみたいクッキーを選び、グループに分かれてその食べ物の材料や作り方について調べるように促す。 まず1つやってみて、美味しいクッキーの作り方を考えられるようにする。 桜町小で採れたピワや桑の実を紹介し、クッキーに付けるジャム作りへの意欲を高められるようにする。 	<p>○桜町小には、「ケヤッキー」や「ケヤちゃん」などのオリジナルキャラクターがいるが、名物はなく、名物があると、更に桜町小の魅力が増すことになるかと理解している。</p> <p><③課題対応能力> [1:課題を見出し、把握している]</p> <p>◎桜町小オリジナルクッキーについて、仲間と協力して話し合いながら自分が作りたいものを決定し、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具体化するための振り返りや話し合いをしている。</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力> [2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる]</p> <p>●自己の取組を振り返ることを通して、よりおいしい桜町小クッキーを作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p> <p>[1:課題を見出し、把握している]</p> <p>●よりおいしいクッキーにするために、菓子職人の方に話を聞いたり、コラボレーションの方法を考えたり、よりよいものにしようと粘り強く料理作りに取り組もうとしている。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p> <p>[2:課題解決の方法を考えている]</p> <p>○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p>
二学期	「『桜町小クッキー』を完成させよう」(20)			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">夏休み 各家庭でクッキー作り</div> <ul style="list-style-type: none"> 薄力粉と砂糖の割合は3:1がちょうどいいみたい! 形を作るためには、ケヤッキーの型を作りたい。 「桜町小クッキー」のコンテストをして、一番良いものにしたい。 「桜町小クッキー」を作るために、桜新町商店街のお店の方にアドバイスをもらいたい。 「桜町小クッキー」を広める方法を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生地や形、トッピング案を基にクッキー作りをする。 ○「桜町小クッキー」のアイデアを出し合い、作って味比べをして、どれにするか決める。 ○桜新町商店街に行き、桜町小クッキーのコラボレーションについて依頼・相談等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 桜町小を象徴する色、マスコット、味付けを考えてクッキーを作る視点を提示し、目的意識を高められるようにする。 「桜町小クッキー」が決定しやすいように、子どもたちから意見が出ないときは、値段・作り方・味などの観点を提示する。 クッキー作りの講師や桜町小クッキーへの関わり等、事前に桜新町商店街のお店に依頼等を行っておく。 	<p>[1:課題を見出し、把握している]</p> <p>●よりおいしいクッキーにするために、菓子職人の方に話を聞いたり、コラボレーションの方法を考えたり、よりよいものにしようとする粘り強く料理作りに取り組もうとしている。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p> <p>[2:課題解決の方法を考えている]</p> <p>○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p>
三学期	「『桜町小クッキー』を広めよう」(17)			
	<ul style="list-style-type: none"> 桜町フェスティバルで「桜町小クッキー」を紹介したい。 パッケージのデザインを考えたい! 家族や先生方に食べてもらい、「桜町小クッキー」を広めたい 桜町商店街の「UN LIVRE桜新町」とコラボするための準備をしたい。 自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい! 	<ul style="list-style-type: none"> ○土曜授業日などに「桜町小クッキー」作りを行い、保護者や先生方に食べてもらい、「桜町小クッキー」を紹介する。 ○桜町フェスティバル等で、「桜町小クッキー」を紹介する。 ○今年度の成果と課題をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「桜町小クッキー」のレシピを決め、自分自身で作ることができるだけでなく、洋菓子店と関わりながら、「桜町小クッキー」を広められるようにする。 レシピという形など、できる方法を考え、学校で「桜町小クッキー」を紹介する。 さらに追究したいことを記録しておく。 	<p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p>

材(クッキー)のもつ価値

- クッキーは比較的簡単に作れるので、繰り返し作ること、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することができるので、課題を解決する力を身に付けることができる。
- クッキーは、包丁やガスレンジを使わずに、オーブンで焼いて作る料理であり、4年生という発達段階の児童にも安全に作ることができるものである。
- 学校で採れる「ピワ」や「桑の実」などもジャム等に加工し、クッキーの材料にすることができるので、探究の幅が広がる。
- 桜町小オリジナルクッキーを作り、保護者や地域の方に紹介することで、学校への愛着と人と関わろうとする気持ちを高めることができる。
- 桜町商店街には、洋菓子店も多く、お店と関わりながら、進めることができる。

材(クッキー)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ☆「桜町小クッキー」を開発して、桜町小に貢献したいと考えている。
- ★デザインを工夫して、見た目も桜町小に相応しいものに試行錯誤しながら開発していきたいと考えている。
- ☆まずは、クッキーを作り、家族に食べてもらいたいと考えている。
- ☆桜町小で収穫できる「ピワ」、「桑の実」等も使った「桜町小クッキー」を作りたいと考えている。
- ☆桜新町商店街の洋菓子店とコラボレーションしたいと考えている。
- ☆可能であれば、自分たちでクッキーを販売したいと考えている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)